

競争的研究費により雇用される若手研究者の自発的な研究活動等の
実施に関する取扱要項

〔 令和2年6月15日 〕
学 長 裁 定

(趣旨)

第1 愛媛大学(以下「本学」という。)において、競争的研究費によりプロジェクトの推進のために雇用される若手研究者(以下「若手研究者」という。)が、当該プロジェクトに従事するエフォートの一部を充当して、プロジェクトの推進に資する自発的な研究活動や研究・マネジメント能力向上に資する活動(以下「自発的な研究活動等」という。)を実施する場合の取扱いについては、競争的研究費においてプロジェクトの実施のために雇用される若手研究者の自発的な研究活動等に関する実施方針(令和2年2月12日競争的研究費に関する関係府省連絡会申し合わせ)、競争的研究費の配分機関が定める実施方針、公募要項等(以下「配分機関の要項等」という。)に定めるもののほか、この取扱要項の定めるところによる。

(対象となる若手研究者)

第2 この取扱要項の対象となる若手研究者は、配分機関の要項等に定められた要件を満たす者とする。

(若手研究者の募集)

第3 本学が、競争的研究費の研究代表者又は研究分担者(以下「PI等」という。)の求めにより、当該競争的研究費により雇用する若手研究者の募集を行う場合に、自発的な研究活動等の実施を認めるときは、本学の募集要項等にその旨記載し、当該プロジェクトの遂行に支障がないと判断する自発的な研究活動等に係るエフォートについて、配分機関の要項等に定める範囲内で示すこととする。

(申請方法)

第4 若手研究者は、自発的な研究活動等の実施を希望する場合は、別図1又は別図2に定める手続きにより、学長の承認を得なければならない。

2 若手研究者は、前項の規定により承認された自発的な研究活動等の内容の変更を希望する場合は、別図3又は別図4に定める手続きにより、学長の承認を得なければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、その手続きを要しない。

(1) 他の研究費を獲得する場合において、金額の査定等の研究費支出元の都合による金額の増減があったとき。

(2) 他の研究費を獲得する場合において、当該研究費のルールにおいて軽微な変更として申請を要しないとされているとき。

(活動報告)

第5 若手研究者は、第4の規定により承認された自発的な研究活動等の活動状況を、別図5又は別図6に定める手続きにより、学長に報告しなければならない。

(活動支援)

第6 PI等は、若手研究者の自発的な研究活動等について、必要に応じて、実施状況を把握し当該研究活動等を支援するとともに、当該研究活動等が適切に実施されるよう助言を行うものとする。

(承認取消)

第7 学長は、若手研究者の自発的な研究活動等が次の各号のいずれかに該当すると認められた場合は、PI等と相談のうえ、当該自発的な研究活動等の承認を取り消すことができる。

- (1) 承認した活動内容と実際の活動内容が異なる場合
- (2) 活動していることが確認できない場合
- (3) 承認したエフォート率に対して、実際のエフォートが大幅に異なる場合
- (4) 配分機関の要項等に定める実施条件に違反している場合
- (5) その他事情により自発的な研究活動等を継続させることが不適当な場合

(雑則)

第8 この取扱要項に定めるもののほか、実施に関し必要な事項は別に定める。

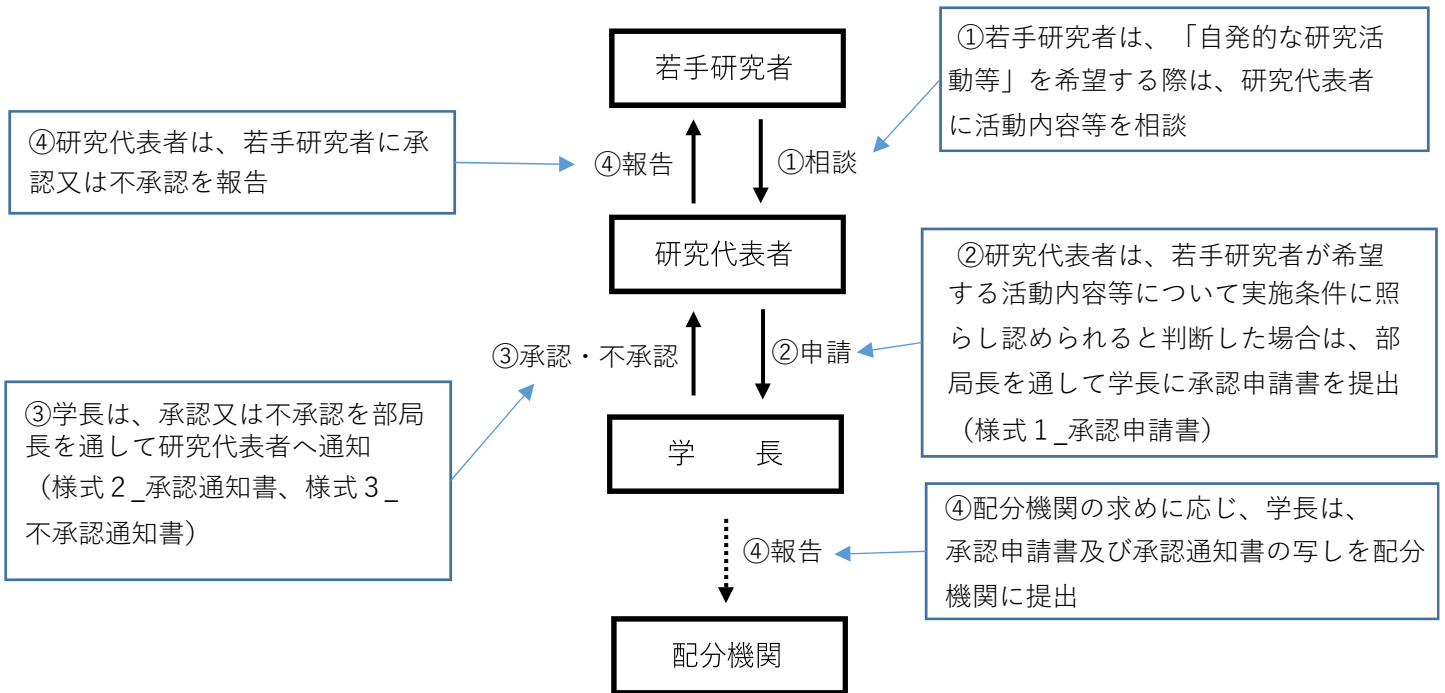
附 則

この要項は、令和2年6月15日から施行する。

自発的な研究活動等の承認申請手続

(別図1)

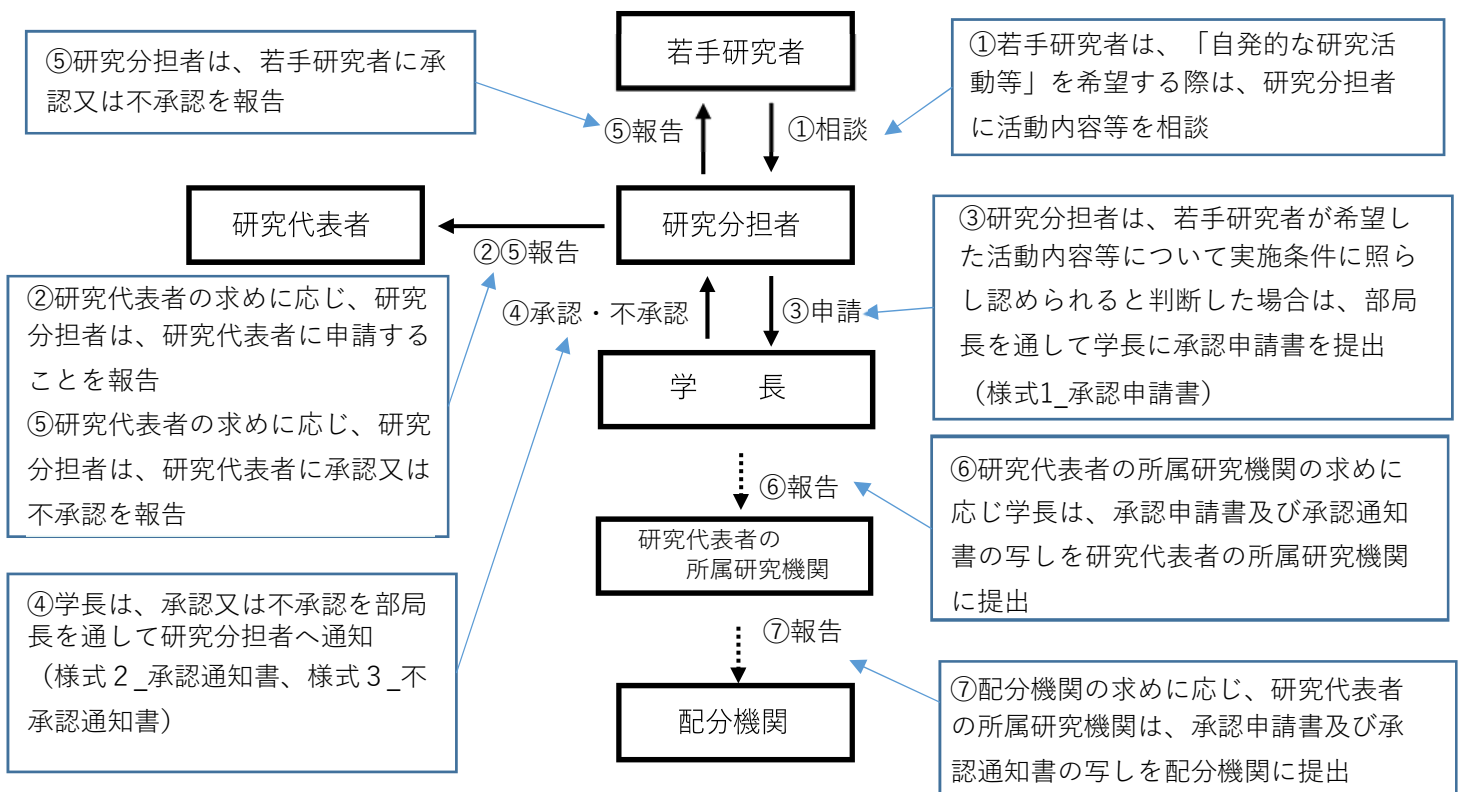
(研究代表者と同一の研究機関に所属する若手研究者の場合)



自発的な研究活動等の承認申請手続

(別図2)

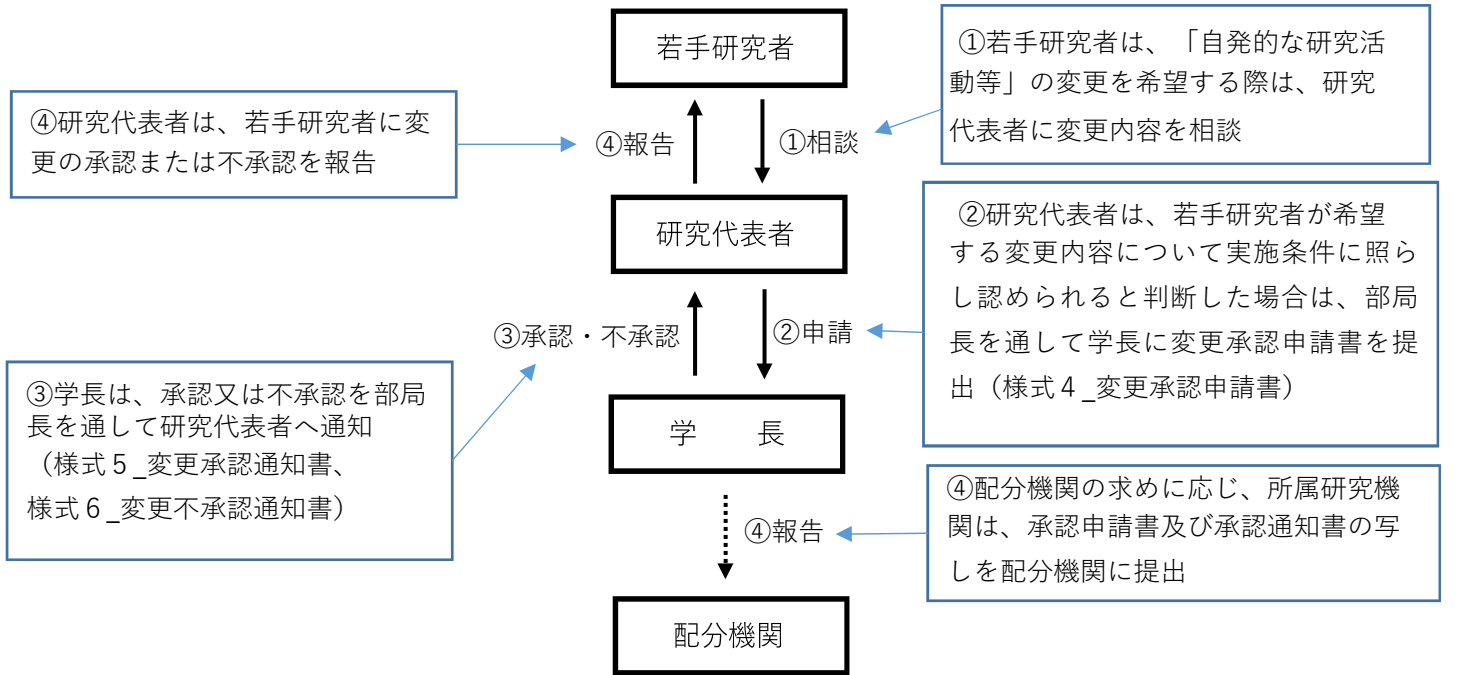
(研究分担者と同一の研究機関に所属する若手研究者の場合)



自発的な研究活動等の変更承認申請手続

(研究代表者と同一の研究機関に所属する若手研究者の場合)

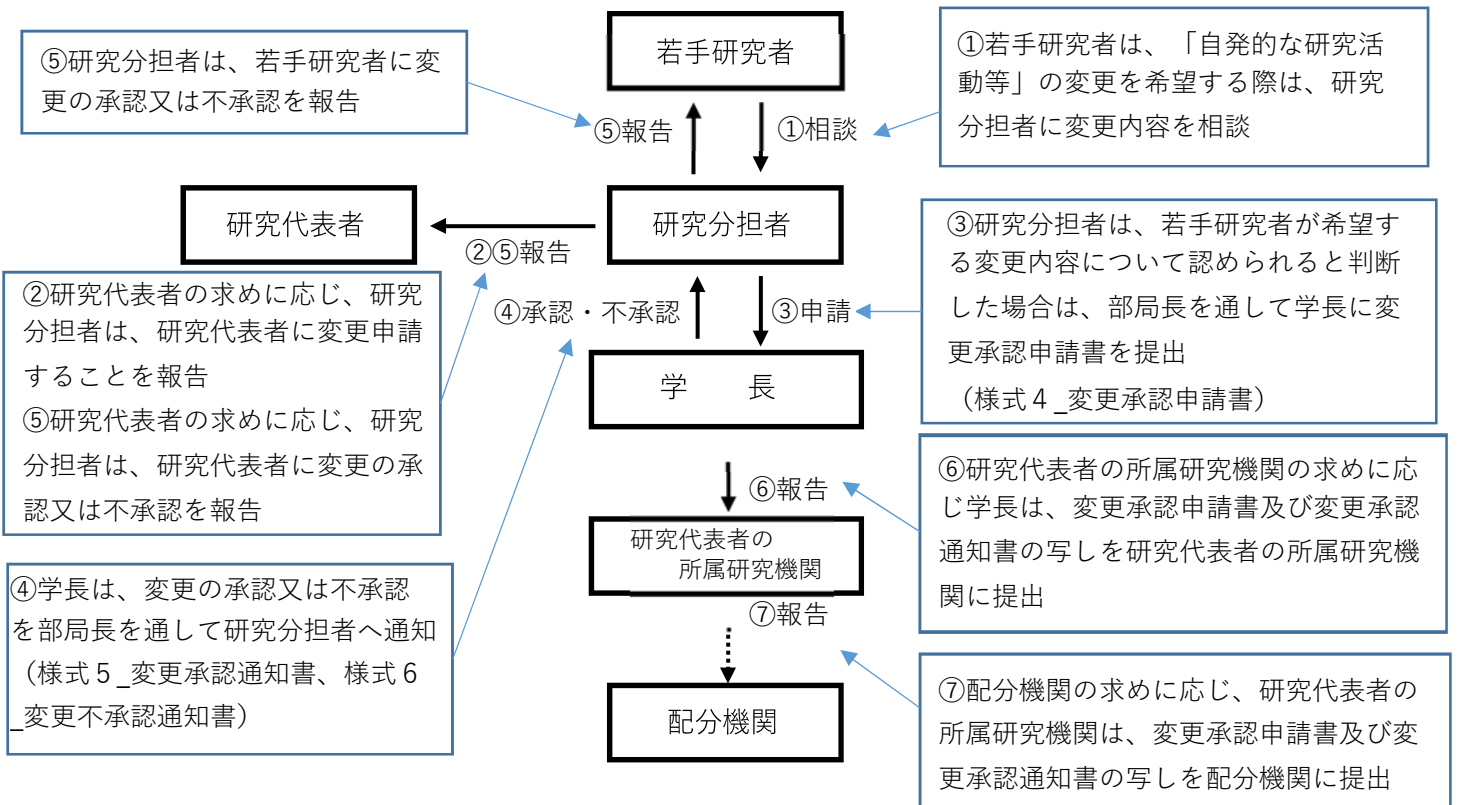
(別図3)



自発的な研究活動等の変更承認申請手続

(研究分担者と同一の研究機関に所属する若手研究者の場合)

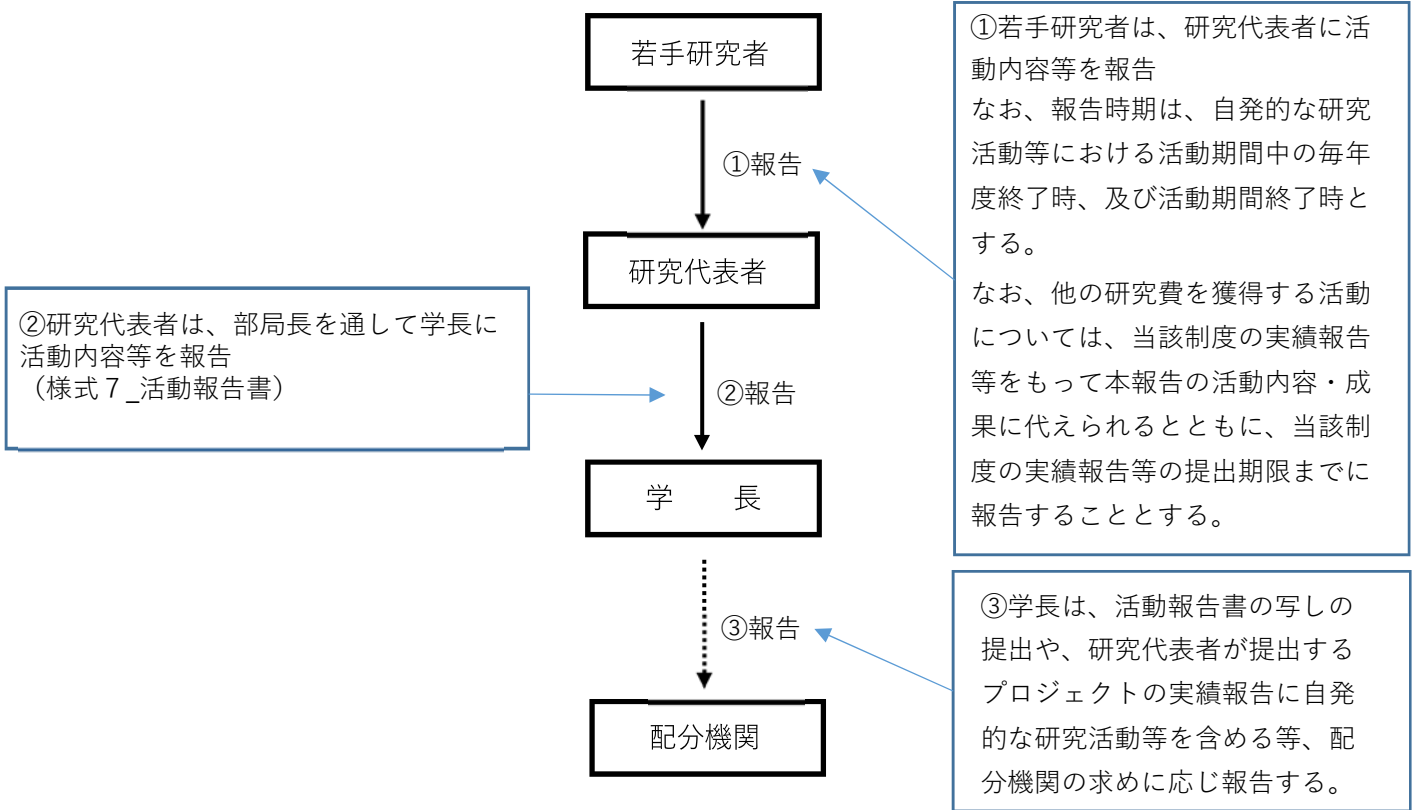
(別図4)



自発的な研究活動等の活動報告手続

(研究代表者と同一の研究機関に所属する若手研究者の場合)

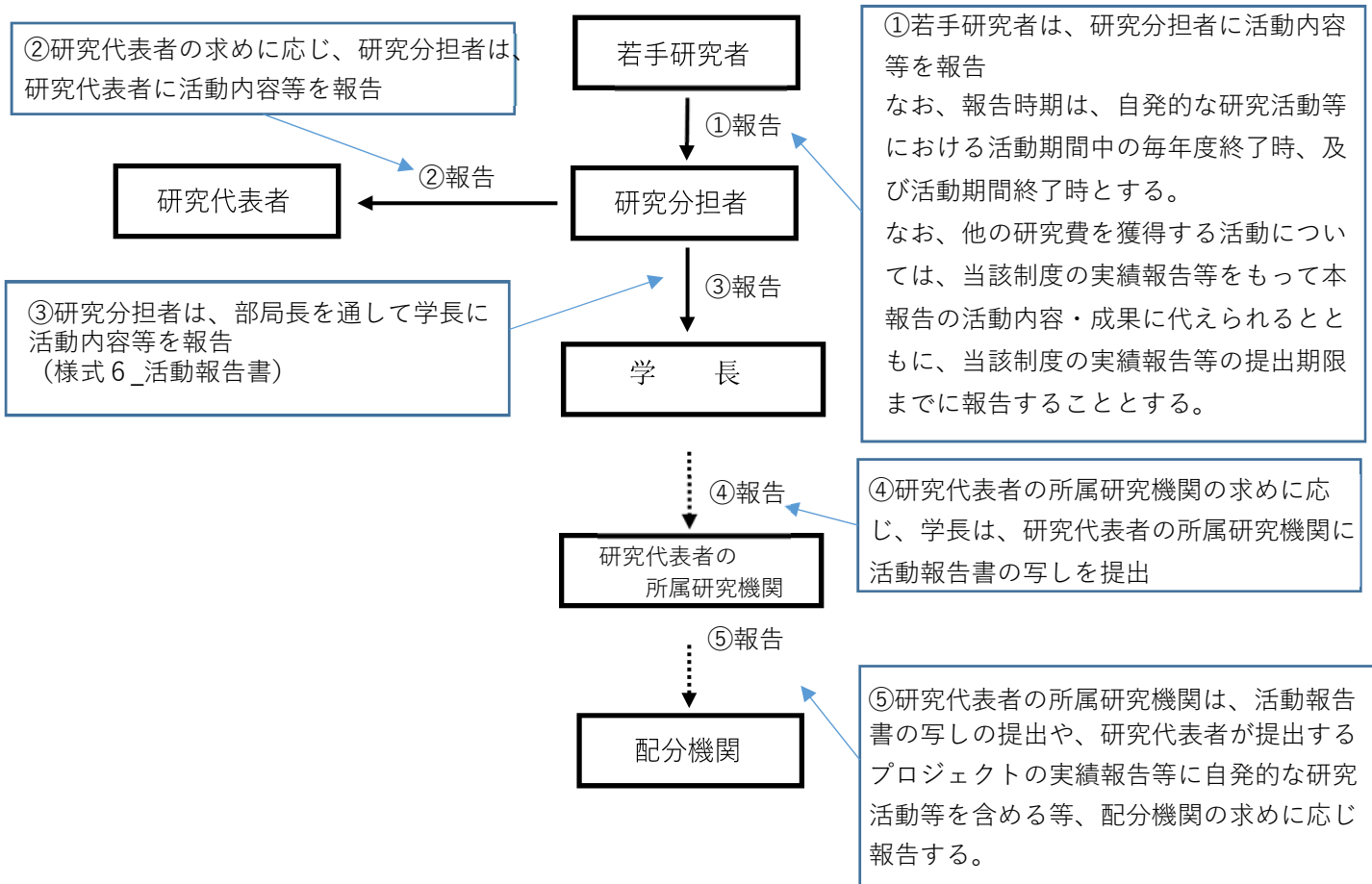
(別図5)



自発的な研究活動等の活動報告手続

(研究分担者と同一の所属研究機関に所属する若手研究者の場合)

(別図6)



愛媛大学長 殿

プロジェクト名：
 研究代表者：
 (又は研究分担者)

自発的な研究活動等承認申請書

本プロジェクトにおいて、下記の者が自発的な研究活動等を行うことを希望したため、内容等を確認した結果、当該プロジェクトの推進に資する活動であり、また支障がないと判断したことから申請します。

本プロジェクト	
プロジェクト名	〇〇プロジェクト
活動期間	〇年〇月〇日から〇年〇月〇日まで
氏名 ※自発的な研究活動等を希望する者	〇〇 〇〇
本プロジェクト内で行う研究活動のエフォート	〇% (自発的な研究活動等を含んだ当該プロジェクトの全仕事を100%とし、それに対する自発的な研究活動等を除いた研究活動の割合を記載する。※80%以上)

自発的な研究活動等	
活動名	(例) 科学研究費助成事業(科研費) 基盤研究(C)
活動期間	〇年〇月〇日から〇年〇月〇日まで
金額 (年度ごとに記載)	〇〇円(〇年度:〇〇円) ※上記資金からの人件費(給与・報酬等)の受給はない。
活動内容	(例) 日本学術振興会が公募している科学研究費助成事業(科研費)の基盤研究(C)に応募し、当該研究課題に係る研究を行いたい。 研究内容は、〇〇〇・・・
本プロジェクトとの関連性	〇〇〇・・・
自発的研究活動等のエフォート	〇%

- ※1 若手研究者は、自発的な研究活動等を実施する前に手続きを行う。
- ※2 複数の自発的な研究活動等を申請する場合は、自発的な研究活動等ごとに申請書を提出する。

研究代表者 殿
(又は研究分担者)

愛媛大学長 ○ ○ ○ ○

自発的な研究活動等承認通知書

○年○月○日付けで申請のあった自発的な研究活動等について承認します。

研究代表者 殿
(又は研究分担者)

愛媛大学長 ○ ○ ○ ○

自発的な研究活動等不承認通知書

○年○月○日付けで申請のあった自発的な研究活動等について、以下の理由により不承認とします。

記

不承認の理由

○○・・・

愛媛大学長 殿

プロジェクト名：
 研究代表者：
 (又は研究分担者)

自発的な研究活動等変更承認申請書

○年○月○日付けで承認された自発的な研究活動等について、以下のとおり変更することについて、実施条件に照らし問題ないと判断したため申請します。

1. 変更理由

○○○・・・

2. 変更後の活動内容

本プロジェクト	
プロジェクト名	○○プロジェクト
活動期間	○年○月○日から○年○月○日まで
氏名 ※自発的な研究活動等を希望する者	○○ ○○
本プロジェクト内で行う研究活動のエフォート	○% (自発的な研究活動等を含んだ当該プロジェクトの全仕事時間を100%とし、それに対する自発的な研究活動等を除いた研究活動の割合を記載する。※80%以上)

自発的な研究活動等	
活動名	(例) 科学研究費助成事業 (科研費) 基盤研究 (C)
活動期間	○年○月○日から○年○月○日まで
金額 (年度ごとに記載)	○○円 (○年度：○○円) ※上記資金からの人件費 (給与・報酬等) の受給はない。
活動内容	(例) ○月○日付けで承認された活動について以下のとおり変更したい。 日本学術振興会が公募している科学研究費助成事業 (科研費) の基盤研究 (C) に応募し、当該研究課題に係る研究を行いたい。 研究内容は、○○○・・・
本プロジェクトとの関連性	○○○・・・
自発的な研究活動等のエフォート	○%

年 月 日

研究代表者 殿
(又は研究分担者)

愛媛大学長 ○ ○ ○ ○

自発的な研究活動等変更承認通知書

○年○月○日付けで変更申請のあった自発的な研究活動等について、承認します。

年 月 日

研究代表者 殿
(又は研究分担者)

愛媛大学長 ○ ○ ○ ○

自発的な研究活動等変更不承認通知書

○年○月○日付けで変更申請のあった自発的な研究活動等について、以下の理由により不承認とします。

記

不承認の理由

○○・・・

愛媛大学長 殿

プロジェクト名：
 研究代表者：
 (又は研究分担者)

自発的な研究活動等活動報告書

〇年〇月〇日付けで承認された自発的な研究活動等について、以下のとおり活動内容等を報告します。

本プロジェクト	
プロジェクト名	〇〇プロジェクト
活動期間	〇年〇月〇日から〇年〇月〇日まで
氏名 ※自発的な研究活動等を希望する者	〇〇 〇〇
本プロジェクト内で行う研究活動のエフォート	〇% (自発的な研究活動等を含んだ当該プロジェクトの全仕事時間を100%とし、それに対する自発的な研究活動等を除いた研究活動の割合を記載する。※80%以上)

自発的な研究活動等	
活動名	(例) 科学研究費助成事業 (科研費) 基盤研究 (C)
活動期間	〇年〇月〇日から〇年〇月〇日まで
金額 (年度ごとに記載)	〇〇円 (〇年度: 〇〇円) ※上記資金からの人件費 (給与・報酬等) の受給はない。
活動内容・成果 (本プロジェクトとの関連性については後術)	(自発的な研究活動等の成果) 〇〇〇・・・ ※他の研究費を獲得した活動については、当該制度における実績報告や成果報告を添付することによる報告を可能とする。
本プロジェクトとの関連性	〇〇〇・・・
自発的研究活動等のエフォート	〇%

※複数の自発的な研究活動等を実施している場合は、自発的な研究活動等ごとに申請書を提出する。